

～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫CS便り

平成 27 年 10 月 1 日 (N0.65)



浦幌町教育委員会

浦幌町教育研究所

釧路小学校訪問

10月1日(木)、浦幌町のCS関係者13名は、全国道徳教育研究会北海道釧路大会を終えたばかりの釧路小学校(吉川修校長)を視察訪問させていただきました。

釧路小学校は、9月17に行われた全国道徳研究大会の会場校として、子どもたちの心を耕す素晴らしい道徳の授業を公開され、吉川校長先生を指導者とする「チーム釧路小学校」の底力を十分発揮されている学校です。

釧路小学校は道徳教育の推進をはじめ、コミュニティ・スクールの先進校としても知られており、CSの推進状況及び成果と課題についてお伺いすることができました。

釧路小学校は、9月17に行われた全国道徳研究大会の会場校として、子どもたちの心を耕す素晴らしい道徳の授業を公開され、吉川校長先生を指導者とする「チーム釧路小学校」の底力を十分発揮されている学校です。

視察者の声

■児童の落ち着いた学習の様子から、道徳教育の実践校として取り組まれている成果があらわれていたと思いました。子どもの心を育てる道徳教育が、コミュニティ・スクールの方向性として位置付いていると感じました。

■共感的理解に基づく教師と子どもとのかかわりが、豊かな道徳性を育むもとになっていました。ゲストティーチャーの方のお話も心に響くものがありました。今回の授業者のような方を私たちの町の道徳教育推進教師としてお迎えしたいと思いました。

■CS協議会の組織(地域教育部、学習活動支援部、広報推進部)が機能し、多様な学校支援の様子を垣間見ることができました。教職員が地域・保護者の皆さんとの信頼関係を深め、協働する姿勢が、地域社会とのネットワークを生かしCSを基盤とした教育活動ができるもとになっていると思いました。

■釧路市教委の適切な指導が、教育現場の教育実践を確かなものにしていきます。釧路小学校のCSから学ぶべき事柄は大きいと思いました。



CS導入促進等協議会

10月16日(金)、帯広とかち館において、上記の協議会が開催されます。三鷹中央学園の四柳マイスターの基調提言、シンポジウムなどがあります。浦幌町教委もCSの実践発表をします。

町内からは、学校長やPTA会長など10名が協議会に参加します。